



114
258
1



明十六日(金曜)左ノ三件ノ第一讀會ヲ開シヨリ

一明治廿三年年度歳出豫算中第一豫備金ヲ以テ補充スヘキ費途

一議員選舉罰則

但シ委員修正於テ衆議院議員選舉法罰則補則ト改題ス

一市町村會議員選舉罰則

以上

右依議長命令及即送通知也

明治廿三年

五月十九日

樞密院書記官

- 一 衆議院議員選舉法罰則補則修正案
- 一 市町村會議員選舉罰則修正案
- 一 行政裁判法ニ付井上教民書牘
- 一 井上教民書牘ニ對シ書記官長意見書

右各一冊依議長ニ命及御配付也

明治廿三年五月十五日

樞密院書記官

五月十五日配付

機密

修正

市町村會議員選舉規則

大隈

法律第号

市町村會議員選舉罰則

第一條 凡選舉資格ニ必要ナル事項ヲ
詐称シテ選舉人名簿ニ記載セラレタル
者ハ二回以上二十四以下ノ罰金ニ處ス

第二條

投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セ

シメ若クハ他人ノ為ニ投票ヲ為スコト

ヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接

ニ金錢物品手形若クハ公私ノ職務ヲ選

舉人ニ授与シ又ハ授与スルコトヲ約束

シタル者ハ三四以上三十回以下ノ罰金

ニ處ス

其授与又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第三條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ
選舉會場ノ近傍若クハ選舉人住來ノ
途中ニ於テ選舉人ニ酒食若クハ車馬ノ
類ヲ給與シタル者ハ第二條物品授与ノ
例ニ依リ處断ス
其給与ヲ受ケタル者亦同シ

第四條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ
選舉人ノ為メニ選舉會場ニ住復スル
車馬賃又ハ路費若クハ休泊料ノ類ヲ
代辦シ又ハ代辦スルコトヲ約束シタル
者ハ第二條金錢授与ノ例ニ依リ處断ス
其代辦又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第五条 第二条第三条及第四条ニ記載シ
タル所業ヲ為シテ第二条ニ記載シタル
目的ヲ達シタル者ハ刑法第二百三十四
条ノ例ヲ以テ論ス

第六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ
選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者ハ十五日以
上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二回以上二
十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第七條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ
選舉人ヲ脅逼シタル者又ハ誘引シ若クハ其選舉權ノ行使ヲ妨テ若クハ
詐偽ノ手段ヲ以テ其選舉權ノ施行ヲ
妨害シタル者ハ第六條暴行ノ例ニ依リ
處断ス 若クハ妨害セトシ

第八條 第六條及第七條ニ記載シタル所
業ヲ為シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ
達シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁
錮ニ處シ五回以上五十回以下ノ罰金ヲ
附加ス

第九條 選舉人ヲ脅逼シ若クハ選舉會場
ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ扣留毀壞若クハ
劫奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタ
ル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處
シ五回以上十回以下ノ罰金ヲ附加ス
其情ヲ知リ嘯聚ニ應シタル者ハ十五日
以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二回以上
十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第十條 選舉ノ際選舉ニ關係スル吏負若
クハ選舉掛ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以
テ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留
毀壞若クハ劫奪シタル者ハ三月以上三
年以下ノ輕禁錮ニ處シ拾圓以上百圓以
下ノ罰金ヲ附加ス

第十一條

多衆ヲ嘯聚シテ第十條ノ罪ヲ

犯シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁

錮ニ處シ二十回以上二百回以下ノ罰金

ヲ附加ス

其情ヲ知り嘯聚ニ應シタル者ハ十五日

以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ四回以上

四十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第十二條 第九條第十條第十一條ノ場合

ニ於テ犯罪者或器又ハ兇器ヲ携帶シタ
ルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第十三條

選舉會場所在ノ郡市内ニ於テ
選舉ノ氣勢ヲ張ル爲メ多衆集合シ若ク
ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ篝火松明ヲ
焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ
旗幟其他ノ標章ヲ用ル等ノ所業ヲ爲
シ警察官ノ制止ヲ受ルニ仍其命ニ從ハ
サル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮
ニ處シ三回以上三十回以下ノ罰金ヲ附
加ス

第十四條

被選人タルコトヲ得ル者ヲ指

シテ被選人タルコトヲ得ス又ハ當選ヲ

承諾スルノ意ナシトノ虚報ヲ流傳セシ

メタル者ハ三四以上三十回以下ノ罰金

ニ處ス

第十五條 武器又ハ兇器ヲ携帶シテ退場
會場ニ入りタル者ハ三回以上三十回以
下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以
テ張札ノ類ヲ公然掲示シタル者ハ二回
以上二十回以下ノ罰金ニ處ス

第十七条 他人ノ姓名ヲ詐称シテ投票ヲ
為シ又ハ選舉人タルコトヲ得スシテ投
票ヲ為シタル者ハ三回以上三十回以下
ノ罰金ニ處ス

第十八条 当選人第一条乃至第十五条ニ
依リ刑ニ處ヒラレタルトキハ其当選人
無効トス

第十九条 本法ニ規定シタルモノ、外刑
法ニ正条アルモノハ各其条ニ依リ重キ
ニ從テ處断ス

第二十条 本法ニ関スル犯罪ハ六箇月ヲ
以テ期滿免除トス

第二十一条 本法ハ市町村會ノ外市制所
村制并ニ明治二十二年法律第十一号及
明治十七年第十四号布告ニ據リテ開設
スル各種ノ議會ノ議員選舉ニモ適用ス



